

新庄村立新庄小学校 活用事例

小学校1・2年生「春さがし」と図書指導の連携

- ・新庄小学校1・2年生が、年間を通じて「新庄村の季節」を学習している。(計4回)
- ・第一回「春さがし」(5月20日)では、新庄村在住の学校支援ボランティアの方から新庄村の春の特徴を教えて頂いた。
- ・新庄村ふれあい公園内での「自然探しビンゴゲーム」の中で、「かおを見つける」という個所があり、児童は班に分かれ、自然の中にはたくさんの「顔」があることを見つけてくれた。
- ・朝読書の時間(5月22日)に、「はっぱじゃないよ ぼくがいる」(おもしろ読書事典小学生版P18)を使用して、「春さがし」の振り返り学習とした。
- ・新庄小学校学習発表会(11月1日)の展示において、壁新聞にまとめを行った。

選書理由

朝読書用の本を選ぶなかで、「おもしろ読書事典小学生版」を参考とした。

「はっぱじゃないよ ぼくがいる」の内容が「春さがし」の振り返り学習に適しており、活用した。



春さがしの様子



児童が見つけた「顔」



朝読書

「はっぱじゃないよ ぼくがいる」



学習発表会での展示



「かおみたいな木やはっぱコーナー」

新庄小学校児童の反応や成果・効果

- ・「こんな葉っぱあったあった！！」という反応で振り返りにとても有効であった。
- ・「春さがし」では見つけることができなかった葉っぱが登場していたので、最後までとても興味をもって話を聞くことができた。
- ・子どもたちが「ここが目だ。」「いやいやここが目だ。」というような感じで葉っぱの顔を探す様子がとても良かった。

担任より

実際に「春さがし」を経験して、そこで発見した葉っぱのことをテーマにしてある本だったので、児童も興味をもって話を聞くことができていました。

また、振り返りの内容として、とても効果的で「こんな葉っぱあったな。」「こんな葉っぱもおもしろいな。」などと児童の記憶に深く残ったのではないかと感じました。

そして、「春さがし」の内容を新聞にする時に児童から「おもしろい葉っぱを紹介するコーナーを作りたい」と提案があったのは、この本の影響があったのではないかなと思いました。

ただ、体験して終わりだけでなく、このように本を活用することで学習の振り返りにつながったり、また、体験する前に本を読むことで学習意欲を高めたりすることを改めて感じました。